

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	シビア・デリリアム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：シビア・デリリアム**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  5 インチ

番

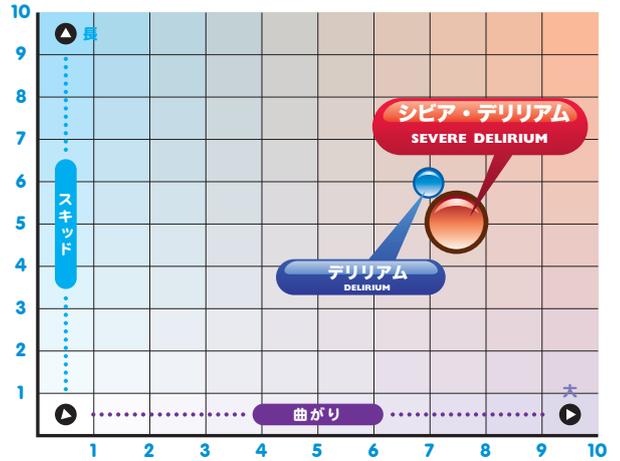
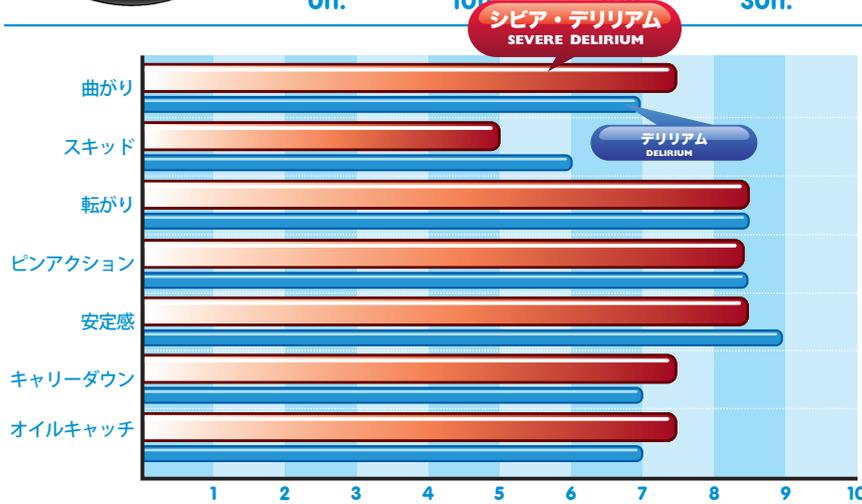
**比較対照ボール：デリリアム**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  5 インチ

番



### ボールの評価

Columbia社はPerformance分類とReaction形態を変更して分かりやすくしました。Performance分類は5種、RED LINE(HP)、Orange LINE(UMP)、YELLOW LINE(MP)、GREEN LINE(LMP)、STARTER LINE(POLY)、Reaction形態は4種、SKID FLIP、STRONG MID LANE、BIG CONTINUOUS HOOK、SMOOTH HOOKです。

今回紹介するSevere DELIRIUMはYELLOW LINEで、Strong Mid-Lane and Backendとなります。前作のDELIRIUMとの比較投球ではDELIRIUMはBend-It Pearl、Severe DELIRIUMはBend-It Hybrid、CoreTechnologyは双方Resurgenceで数値も同じです。まず感じたのはバックエンドの動きの差でした。DELIRIUMはバックエンドでフリップ状のReaction特性であるのに対し、Severe DELIRIUMはそれよりはやや角が見えるReaction特性でした。シリーズで考えるとSmack Downよりはやや強く感じ、Knock Downよりはスキッドを感じます。

YELLOW LINEでもほぼORANGE LINEに近い領域にあると感じました。最終仕上げが500 / 2000 Abralonであるがゆえに、オイルに対してのブレーキ度は強さを感じ、軸の残らない向きの変わり方をします。私にとってはしっかりと軸移動するというか、入射角がとれるイメージがあるボールです。私はSmack DownもDELIRIUMも気に入っています。それは柔らかくてもしっかりと軸移動することで、コントロールしやすくてピンの飛びも申し分ありません。

このSevere DELIRIUMはそれよりもややaggressiveな運動性なので入射角が取れるので、強過ぎずMid Laneのキャッチを求めたい方はこのボールはイメージが良いと思います。

### 特記事項

**Columbia最新作はSevere DELIRIUM。初代DELIRIUMよりもややキャッチを強めて入射角を増やした設定です。曲がり過ぎない性能ですので、曲りをコントロールしたい方は扱いやすくピンの飛びも期待できます。**